

製品名: ヒストン H2A.X (リン酸化 Ser139) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe21478

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:2000-1:8000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:15kD;Observed MW:15kD

抗原情報

遺伝子名	H2AFX
別名	H2AFX;H2AX;Histone H2A.x;H2a/x
遺伝子 ID	3014.0
SwissProt ID	P16104
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

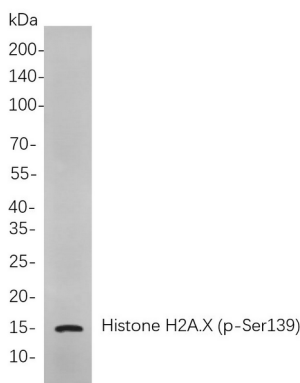
細胞局在: 核。ヒストンは、真核生物の染色体繊維のヌクレオソーム構造を担う基本的な核タンパク質です。4つのコアヒストン

(H2A、H2B、H3、H4) はそれぞれ 2 分子ずつで八量体を形成し、その周囲に約 146bp の DNA がヌクレオソームと呼ばれる繰り返し単元に巻き付いています。リンカーヒストンである H1 は、ヌクレオソーム間のリンカー DNA と相互作用し、クロマチンを高次構造に凝縮する役割を果たします。この遺伝子は、ヒストン H2A ファミリーに属する複製非依存性ヒストンをコードし、保存されたステムループ終結モチーフとポリ A 付加モチーフを用いて 2 つの転写産物を生成します。[RefSeq 提供、2015 年 10 月]

研究分野

-

画像データ



ヒストン H2A.X (p-Ser139) ウサギ mAb を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。